

高次脳機能障害運転再開までの流れ

インフルエンザ脳症発症 発症直後～1ヶ月

- 2019年1月
- 入院中に大学病院での心理検査
- 記憶障害
- 心理検査で自立まで1点足りず
「要見守り」

運転用心理検査 発症から2か月後

- 2019年3月
- 千葉リハで運転再開を目的とした心理検査
- 記憶障害
- 注意障害
- 遂行機能障害

診察 発症から5か月後

- 2019年6月
- 千葉リハにて実車運転可能か診察
- 易疲労と注意障害によりNG

運転再開 発症から13か月後

- 2020年2月
- 条件
 - 法的な決まり事ではなく千葉リハとの口約束。
 - 易疲労防止のために一定時間運転したら休憩をはさむ
 - 運転したらSNSで報告

実車試験 発症から1年後

- 2020年1月
- 教習所内及び路上にて実車試験
- 疲労による注意力低下
- 技術的には問題無
- 安全運転への意識は認められるが、慢心油断の傾向がある

診察 発症から11か月後

- 2019年12月
- 千葉リハにて実車運転可能か診察
- 1月に実車試験実施の判定

現在

- 知らない道は走らない
- 短いコースで回数をこなす
- 30分以内に収まるコースを運転

これから

- 知らない道は助手席に人を乗せる
- カーナビに頼らない
- 次の診察(運転開始から半年後)まで長距離運転は我慢